

本の修理ボランティア養成講座

八女市立図書館 2階研修室
全4回 14:00～16:00

図書館では現在、こわれた本の修理をしていただくボランティアさんを募集し、活動に必要な知識や技術を学んでもらうための講座を実施しています。

第1回 6月7日(木)

◇修理をするために知っておきたいこと

◇ページ破れの修理

受講生11名と担当職員の初顔合わせです。一番眠い時間からのスタート、眠気を飛ばすような楽しい講座になるよう、がんばらねば！！

はじめに、修理技術を学ぶ前に知っておくべき知識の勉強から入ります。修理技術よりも大切なのは、壊れる原因をつくらないこと。さまざまな被害にあった本を見ながら、壊れる原因と予防策を知っていただきます。例えば、本にとって一番の大敵は水分だということ。飲食や雨がどんな壊れにつながるか、濡れてしまった場合の正しい処理の仕方は・・・という内容を実験を交えながらお話ししました。その後は、製本の種類や本の構造について学びます。本の修理とは、壊れる前の状態に戻すこと。そのためには、正しい本の構造を知っておかなければなりません。みなさん熱心に聞き入り、時には質問をしたり体験談を語ってくださったりと、活気あふれる座学になりました。



そして後半戦は、いよいよ修理技術の実技です。本日のメニューは、ページ破れの修理。当館で調合している特製のりを使った修理と、和紙を使った修理を知ってもらいます。使用するのりは、もちろん八女産の和紙。今回は、破れ方によって修理方法を使い分けます。みなさん、なかなか呑み込みが早かったですね～！

ところで、修理ができるのは1回につき1カ所のみ。さらに、修理を施した本は、のりの水分が完全に抜けてしまうまでさわらず動かさず、じっと静置しておかなければなりません。修理には本への負担が少ない素材を使うため、接着した部分が固定されるには時間がかかります。乾く前に動かすと修理した部分がズレてしまい、せっかく丁寧に施した修理がダメになってしまうのです。そのため、今日の修理がきちんとできているか、仕上がりを見られるのは後日になります。修理には時間がかかる、ということも知っていただけたのではないのでしょうか。

